

国づくりへの歩み① (教科書 78～93 ページ)

氏名 ( )

1 教科書 78 ページや 79～81 ページの絵を見ながら、大昔の暮らしの様子を書きましょう。

	79 ページ「狩りや漁 <sup>か</sup> をしていたころの様子」	80～81 ページ「米づくりが広まったころの様子」
食べ物		
家や建造物		
衣服や道具・行動		

2 大昔の暮らしはどのように変化したか考えましょう。

## 国づくりへの歩み② (教科書 78~93 ページ)

氏名 ( )

1 84 ページの絵を見て、どのようなことをしている人がいるか書きましょう。

2 米づくりはどのようにして始まりましたか。

①日本くで暮らしていた人たちが考え出しました。

②中国や朝鮮半島ちょうせんから移り住んだ人たちによって伝えられました。

【答え】

3 米づくりが始まると、人々の暮らし方や作業はどのように変わりましたか。

人々は

住み、

作業しました。

4 米づくりにはどのような道具が使われましたか。

木でできた道具

石でできた道具

5 この時代に、大陸から伝わったものは何ですか。

6 弥生時代やよいのむらの様子は、縄文時代じょうもんとどのように変わったでしょうか。

○むらの人口

○集落の周り

○指導者

○身分の差

7 力しゅちょうをもった首長は、やがてどのようによばれるようになりましたか。

8 3世紀ごろ、倭わ(当時の日本)を治めていた邪馬台国やまたいこくの女王はだれでしょう。

①神武天皇じんむてんのう

②

卑弥呼ひみこ

③

紫式部むらさきしきぶ

【答え】

9 弥生時代とくちょうの特徴を短くまとめましょう。

### 国づくりへの歩み③ (教科書 78~93 ページ)

氏名 ( )

1 「古墳」は、いつ、どんな人たちが、どのようにしてつくったのでしょうか。

いつ	
どんな人が	
どのように	

2 教科書 88 ページアの大仙(仁徳陵)古墳を見て、昔の人はどのように思ったでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

3 大和朝廷(大和政権)とは、どのようなものですか。

4 大和朝廷(大和政権)の勢力が広がったことは、どのようなことからわかりますか。教科書 90 ページの資料をもとに考えて書きましょう。

5 渡来人は、古墳づくり以外にどのような役割を果たしましたか。

6 古墳時代の特徴を短くまとめましょう。

国づくりへの歩み④ (教科書 78~93 ページ)

氏名 ( )

1 縄文時代、弥生時代、古墳時代の特徴をまとめましょう。

時代	主な遺跡	暮らしの様子	人々の関係
縄文時代	三内丸山遺跡	○( )や漁をしたり、( )などを採集したりしました。 ○( )土器を使いました。	○みんなで協力して家を建てたり、土器をつくったりしていました。
弥生時代	登呂遺跡 吉野ヶ里遺跡	○( )づくりが始まりました。 ○それまでより安定して( )を得られるようになりました。 ○むらの人口が増えました。 ○周りに( )をめぐらした集落もありました。	○むらの人々をまとめる( )が現れました。 ○土地や( )をめぐって、他のむらとの争いが起こるようになりました。 ○技術をもつ者、たくわえをもつ者などが現れて、身分の差が( )っていきました。
古墳時代	大仙古墳	○( )により伝えられた建築や土木工事、養蚕や織物などの進んだ技術が用いられました。	○豪族たちが連合して( )をつくりました。 ○( )による支配は 5 世紀になると、さらに広がり、九州から関東までの豪族を従えるようになりました。

2 米づくりが広まると、人々をまとめる指導者が現れたり、争いが起こるようになったりしました。どうしてだと思いますか。

人々をまとめる指導者が現れたのは、

からです。

争いが起きたのは、

からです。

国づくりへの歩み① (教科書 78~93 ページ) **解答**

氏名 ( )

1 教科書 78 ページや 79~81 ページの絵を見ながら、大昔の暮らしの様子を書きましょう。

	79 ページ「狩りや漁 <sup>か</sup> をしていたころの様子」	80~81 ページ「米づくりが広まったころの様子」
食べ物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やりや弓矢で狩りをして、しかなどの動物をとっている。</li> <li>・ ぼうを使って、木の実を採集している。</li> <li>・ 船に乗って、漁をしている。とった魚はほしている。</li> <li>・ 土器を使って食べ物を煮たり、たくわえたりしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠くの方で稲を育てている。</li> <li>・ 稲をほしたり、米をござの上に広げたりしている。</li> <li>・ 弓矢で鳥や動物をとっている。</li> <li>・ 収穫した米を脱穀している人がいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
家や建造物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木で骨組みを作り、草のようなものを屋根にしきつめた窓のない堅穴住居に住んでいる。</li> <li>・ 階段を上って入る倉庫のような建物がある。</li> <li>・ 壁のない三層の建物がある。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堅穴住居のまわりに土がもられている。</li> <li>・ 階段を上って入る高床の倉庫がある。</li> <li>・ 人々が集まっている大きな建物がある。</li> <li>・ 作業場がある。</li> <li>・ 村の中に水路が張りめぐらされている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
衣服や道具・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性も女性も同じような服を着ている。</li> <li>・ 土でつぼや皿の形を作り、火で焼いて土器を作っている。</li> <li>・ やりや弓矢を作っている人や、穴をほって土を集めている人、木をけずって何かを作っている人などがいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 布を織っている。わらをたたいて、編んでいる。</li> <li>・ 井戸で水をくんでいる。</li> <li>・ 土で作った土器を、かわかしてから焼いている。</li> <li>・ 金属のやりなどや、木の道具を作っている。</li> <li>・ 人々が集まって祭りのようなことをしている。</li> <li>・ 船で米や土器を運んでいる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

2 大昔の暮らしはどのように変化したか考えましょう。

狩りや漁・採集で食料を得るだけでなく、米を育てるようになった。  
 みんなで集まって祭りや米づくりの作業などを行うようになった。  
 布や武器、青銅器など、つくる道具の種類が増えた。

など

## 国づくりへの歩み② (教科書 78~93 ページ) 解答

氏名 ( )

1 84 ページの絵を見て、どのようなことをしている人がいるか書きましょう。

田をたがやしている人がいる。  
種をまいている人がいる。  
田に水を入れている人がいる。 など

2 米づくりはどのようにして始まりましたか。

- ①日本くで暮らしていた人たちが考え出しました。  
②中国や朝鮮半島ちょうせんから移り住んだ人たちによって伝えられました。

【答え】

②

3 米づくりが始まると、人々の暮らし方や作業はどのように変わりましたか。

人々は **集まって** 住み、 **協力して** 作業しました。

4 米づくりにはどのような道具が使われましたか。

木でできた道具 **くわ、すき、田げた**

石でできた道具 **石包丁**

5 この時代に、大陸から伝わったものは何ですか。

**米づくり、青銅器や鉄器**

6 弥生時代やよいのむらの様子は、縄文時代じょうもんとどのように変わったでしょうか。

○むらの人口

**食料が安定したため増えた。**

○集落の周り

**ほりやさくで囲まれた。**

○指導者

**首長は、米づくりを命じたり、祭りを  
行ったり、争いを指揮したりした。**

○身分の差

**技術をもつ者、たくわえをもつ者が生  
まれ、身分の差が広がった。**

7 力をもった首長しゅちょうは、やがてどのようによばれるようになりましたか。

**他のむらを支配する豪族になった。豪族は、小さなくにをつ  
くり、王とよばれるようになった。**

8 3世紀ごろ、倭わ(当時の日本)を治めていた邪馬台国やまたいこくの女王はだれでしょう。

- ① 神武天皇じんむてんのう ② 卑弥呼ひみこ ③ 紫式部むらさきしきぶ

【答え】

②

9 弥生時代とくちようの特徴を短くまとめましょう。

**(例) 米づくりや青銅器・鉄器が伝わって人口が増え、む  
らには指導者が現れて身分の差が広がるとともに、争いを  
通してむらがくに、豪族が王になっていった時代。**

## 国づくりへの歩み③ (教科書 78~93 ページ) 解答

氏名 ( )

1 「古墳」は、いつ、どんな人たちが、どのようにしてつくったのでしょうか。

いつ	3世紀の終わりごろから
どんな人が	地域を支配していた豪族たち
どのように	多くの人たちが長い期間働いた。 設計や土木工事、金属加工は、高度な技術を持った渡来人が重要な役割を果たした。

2 教科書 88 ページアの大仙(仁徳陵)古墳を見て、昔の人はどのように思ったでしょうか。あなたの考えを書きましょう。

(例) こんなに大きな古墳をつくれる大王や豪族は、強い力をもっているのだと感じた。

3 大和朝廷(大和政権)とは、どのようなものですか。

大和(奈良県)や河内(大阪府)の豪族たちが連合してつくった政府で、中心人物は大王(後に天皇)とよばれた。5世紀になると、九州から関東までの豪族を従えるようになった。

4 大和朝廷(大和政権)の勢力が広がったことは、どのようなことからわかりますか。教科書 90 ページの資料をもとに考えて書きましょう。

九州から東北地方まで広い範囲で前方後円墳がつけられていることや、埼玉県と熊本県の古墳から、大和朝廷の大王ワカタケルの名前がきざまれた剣が見つかったこと。

5 渡来人は、古墳づくり以外にどのような役割を果たしましたか。

建築や土木工事、養蚕や織物などの進んだ技術や、漢字や仏教を伝えた。朝廷で記録をつけたり、外国への手紙を書いたりする仕事をした。

6 古墳時代の特徴を短くまとめましょう。

大きな富と権力をもつ豪族たちが大和朝廷をつくって国をまとめ、渡来人の伝えた技術を使って巨大な古墳をつくった時代。

国づくりへの歩み④ (教科書 78~93 ページ) 解答

氏名 ( )

1 縄文時代、弥生時代、古墳時代の特徴をまとめましょう。

時代	主な遺跡	暮らしの様子	人々の関係
縄文時代	三内丸山遺跡	<p>○( 狩り )や漁をしたり、( 木の实 )などを採集したりしました。</p> <p>○( 縄文 )土器を使いました。</p>	<p>○みんなで協力して家を建てたり、土器をつくったりしていました。</p>
弥生時代	登呂遺跡 吉野ヶ里遺跡	<p>○( 米 )づくりが始まりました。</p> <p>○それまでより安定して( 食料 )を得られるようになりました。</p> <p>○むらの人口が増えました。</p> <p>○周りに( ほりやさく )をめぐらした集落もありました。</p>	<p>○むらの人々をまとめる( 指導者(首長) )が現れました。</p> <p>○土地や( 水 )をめぐって、他のむらとの争いが起こるようになりました。</p> <p>○技術をもつ者、たくわえをもつ者などが現れて、身分の差が( 広が )っていきました。</p>
古墳時代	大仙古墳	<p>○( 渡来人 )により伝えられた建築や土木工事、養蚕や織物などの進んだ技術が用いられました。</p>	<p>○豪族たちが連合して( 大和朝廷 (大和政権) )をつくりました。</p> <p>○( 大和朝廷 (大和政権) )による支配は 5 世紀になると、さらに広がり、九州から関東までの豪族を従えるようになりました。</p>

2 米づくりが広まると、人々をまとめる指導者が現れたり、争いが起こるようになったりしました。どうしてだと思いますか。

人々をまとめる指導者が現れたのは、(例) 米づくりをするための、水田や水路を作ったり、田植えや収穫などをしたりする作業に大勢の人が必要で、それらの人をまとめる指導者が必要だったからです。

争いが起きたのは、(例) 米をつくるためには水が必要なので、川などの水をめぐって争いになったり、食料の足りないむらが、米がたくさんとれるむらから米や土地をうばおうとしたりしたからです。